

地域の史跡を巡る 久米ウオーキングマップ北コース

4.6km



① 祇園神社 (天王様) ぎ おんじんじゃ てんのうさま

約450年前に村中に疫病が流行し、死者が多数出て、家族全員が死滅したところも数戸あったので、祇園神社を勧請し、約360年前に社殿を建立しました。それ以来難病が止んだので村中が信仰しました。

最初に社祠が創建された場所は、森ヶ迫 (今のひばりヶ丘) の御立山内の天王山という所にあつたと記録されています。



② 弘法大師地蔵菩薩 こうぼうだいし じぞうぼさつ

旅人が山代街道にある耳切峠 (みみきりとうげ) の難所を無事越せることを願って約290年前に当時の追河内 (今の老郷地) の住民によって造られました。



③ 高善寺大師堂 こうぜんじ だいし どう


弘法大師がこの地を訪ねた時、五色の瑞雲 (ずいろん) がたなびき薬師如来の尊像の出現をご覧になりました。そこで、大師は早速祈禱に使う水を求めて井戸を掘ったところ白い乳色をした水が湧きあふれたと言われていいます。

現在弘法大師と薬師如来が大師堂に合祀 (ごうし) されています。



④ 久保堤 く ぼつみ

久保堤は275年前に久米市 (くめいち) 農民の嘆願 (たんがん) によって築造されました。この堤は川水を分流して貯水し、また川へ放流するという大変珍しい仕組みのため池です。



⑤ 久米天神山 (殿山) く め てんじんやま とのやま

大正9年 (1920)、この天神山に忠魂碑を建立し、桜の木を植えました。当時は久米唯一の景勝地であり眼下に徳山、下松港が観え眺望は絶景でした。

また、この地が海拔88mの高さにあるので別名「88高地」と言われておりました。


現在は天神山公園になっています。



⑥ 久米神社 く め じん じゃ

久米の鎮守様 (ちんじゆさま) です。社宝は「菅公絵画像 (かんこうえがぞう)」と「萩藩根帳入認可書 (はぎはんねちやういりにんかしょ)」です。

古くは岡野天満宮と呼んでいましたが、昭和17年に徳山市と合併したのを期に久米神社と改称されました。



⑦ 菅原道真公お腰掛けの石 すがわらのみちざねこう こしかけ いし

菅原道真公が京から大宰府へ左遷されて行く途中、風波にあわれたので、この近くの海岸 (居守港) に船を留め、この地域を見て回られました。その折、久米天神山にも登られこの石に腰を下ろして休息されました。

道真公が大宰府へ去られた後、この石に毎夜光が輝くので村人が道真公に異変があったと気づき、祠 (ほこら) を建てて祀 (まつ) ったと伝えられています。




制作/久米地区体育振興会
久米地区コミュニティ推進協議会
発行/令和7年11月30日

出典参考



文
桜木小